



10月7日、高知工科大学でレインボーコンサート2012（主催＝高知県防衛協会香美支部）が開催されました。

陸上自衛隊・工科大・鏡野中の吹奏楽部による演奏が行われ、観客を魅了しました。

兼山の偉業をたたえて

9月22日、宝くじ助成金による野中兼山関連シンポジウムが中央公民館で開催され、約130人が参加しました。

基調講演では、篠和夫高知小水力利用推進協議会長（高知大学名誉教授）から、兼山が築いた山田堰などの水利施設と今後の利活用について話がありました。

後半のパネルディスカッションでは、香美市長、宿毛市長、本山町まちづくり推進課参事、高知市民図書館館長をパネリストに迎え、宅間一之高知県立歴史民俗資料館長によるコーディネートの下、意見交換が行われました。質疑応答ではパネリストへの質問や積極的な発言があり、会場の参加者は熱心に耳を傾け、メモを取る姿が見られました。



香美市健康まつり

10月7日、奥物部ふれあいプラザで第6回香美市健康まつりが開催されました。

オープニングでは、今回初めてもち投げが行われ、盛り上がりました。

骨密度測定や肺年齢測定コーナーでは、たくさんの方が訪れて、健康状態を確認しました。

健康ウォークは盛況で、奥物部湖周辺5kmのコースに102人が参加し、心地よい汗を流しました。



舟入川ウォーキング & いかだ下り



9月23日、山・川・海のつながりを考える舟入川ウォーキング&いかだ下りが舟入川ウォーキング&いかだ下り実行委員会の主催により開催されました。

参加者は土佐山田町談議所から南国市のゴールを目指して、舟入川沿線をウォーキングしました。

また、小学5・6年生が自作のいかだで舟入川を下りました。

物部川清掃活動へ感謝状

7月17日、高松サポート合同庁舎（高松市）で開催された平成24年度国土交通行政関係功労者表彰式で、国土交通省四国整備局長から香美市土佐山田町婦人会へ感謝状が手渡されました。同会は平成18年から物部川の戸板島橋下流付近の堤防の清掃活動を続けており、高く評価されたものです。



いざなぎ流を知る

9月23日、奥物部ふれあいプラザでいざなぎ流への招待が開催され、約100人が参加しました。

国際日本文化研究センター所長の小松和彦さんを講師に迎え、『いざなぎ流から日本文化が見える』と題して、40年に及ぶ研究を基に話がありました。

後半は、『物部フィールドワークの12年－11月24日 和光大学いざなぎ流シンポジウムへの誘い』と題して、旧物部村の頃から交流がある和光大学の山本ひろ子教授と学生により物部地区でのフィールドワークの様子や、地元の人たちと学生との交流の様子が紹介されました。

最後に、いざなぎ流神楽保存会によるいざなぎ流舞神楽の披露が行われ、参加者はいざなぎ流について理解を深めました。



物部川の自然を守ろう

9月16日、日ノ御子河川児童公園（香北町）で、クラブ香美INGと物部川漁業協同組合の共催による親子さかな釣り大会が開催されました。

この催しはスポーツ振興くじ助成事業によるもので参加者に釣りを通じて、自然の大切さ、環境保全の大切さを感じてもらうことを目的に開催されました。



商店街に活気満ちる

9月22日・23日、えびす商店街（土佐山田町）で第15回えびす昭和横丁が開催されました。

商店街にはクラシックカーが並び、月光仮面やどくろ仮面のリヤカーが子どもを乗せて走りました。

また、今回新たに商店街の歴史について、香美市観光協会による案内がありました。



おかもとあつしさんの紙芝居

また、今回新たに商店街の歴史について、香美市観光協会による案内がありました。



送迎はボンネットバス

百歳おめでとございます

老人の日の記念行事として、百歳（明治45年4月1日～大正2年3月31日までの間に出生）を迎える方へ、内閣総理大臣からの祝状と記念品が贈られ、9月26日に、市長が市内の対象者7人を訪問し、香美市からの祝い金とともに届けました。

物部町仙頭の坂本静子さんは、家族が入るまき風呂を沸かすために、小枝を束ねたり、まきを用意して火をつける準備をしているとのこと。



家族に花束で祝福された坂本さん